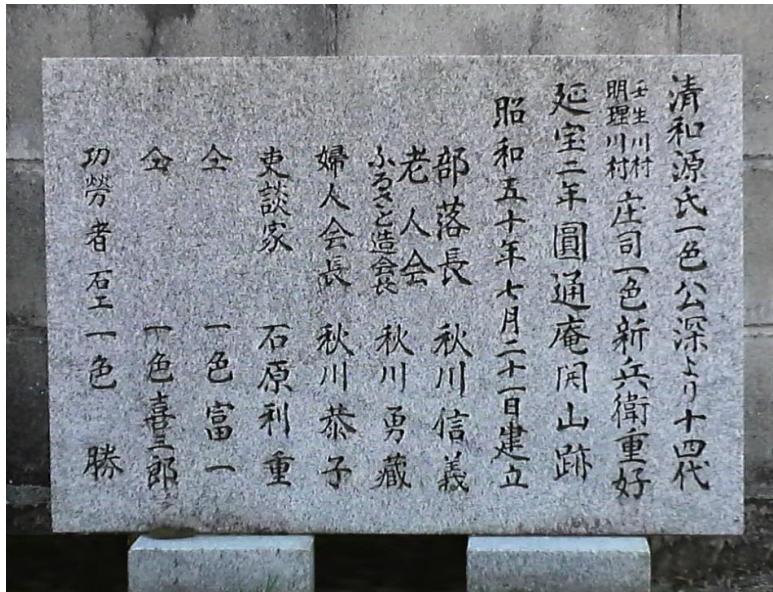


円通庵跡（明理川）

延寶二年(1674年)、明理川村初代庄屋一色新兵衛重好開基
 円通庵には、山路宇右衛門さんが両親の菩提を供養する為に奉納した如意輪
 観音菩薩坐像を観音堂へ安置していた。そして、村民の宗派を超えた「観音講」が
 営まれていました。昭和8年(1933年)、円福寺境内へ本堂として再建移築した。

現在、明理川総ての家が関わっていた「観音講」はありませんが、円福寺において
 「大般若祈祷」と「巡行」を執り行っています。



祖霊

- 一色新兵衛(重好)の次男
- 一色新兵衛(重好)
- 一色新兵衛(重好)の妻
- 一色新兵衛(重持) 彦助
- 一色新兵衛(重持)の妻
- 一色新兵衛(新三郎)の娘
- 一色新兵衛(新三郎)の男
- 一色新兵衛(新三郎)の娘
- 一色新兵衛(新三郎)
- 一色新兵衛(新三郎)の妻
- 一色新兵衛(新三郎)の娘
- 一色新兵衛(新三郎)の娘
- 一色新兵衛(新三郎)の妻
- 一色新兵衛(新三郎)
- 一色市左衛門の娘
- 一色周平

